

見沼田んぼ・野草スケッチ「イチハツ」一初

科名：アヤメ科アヤメ属

花言葉：使者、知恵、つきあい上手、火の用心。



18.4.28 晴れ

家の近くに広がる緑色一面の野原、遠くに白いものが点々と小さくひらめいていました。あんなところ何があるんだろう、普段はそうしたものはなかったはずだが。カメラの望遠レンズで撮影して家でみたところどうも白い花のようでした。翌日、カラスノエンドウやカスマグサなどが生い茂る中を掻き分けて近くに行き見ました。それはハナショウブなどの種類のようなものでした。



「イチハツ」 アヤメ科アヤメ属	
原産地：	中国原産 室町時代に渡来
生育地：	昔は農家の茅葺屋根の棟の上に植える風習があった。田畑や空き地に逸出し野生化している。多年草。帰化植物。
茎 丈：	30-50cm
葉：	2.5-3.5cm、長さ30-60cmの剣形で中脈が隆起しなく、縁は全縁。
花期：	4~5月
花・花色：	分枝して2-3の花をつける。径10cmほど、藤紫色などで、外花被片は倒卵形で先が丸く、内花被片は小型でともに平開する。外花被片に濃紫色の斑点が散らばり、基部から中央にかけて白色のとさか状の突起がある。
種子：果実	黄色の根茎
特徴：	アヤメの類で一番先に咲くので、「一初（イチハツ）」の名がある。
名前の由来：	種小名の <i>tectorum</i> は、「屋根の」という意味。魔よけとしてかやぶき屋根に植えられた。
18.5.5 Wikipedのサイトより、	